

教育コミュニティづくり通信

平成 30 年 10 月 21 日

平成 30 年 10 月 20 日～21 日、田尻町立小学校で「たじり子ども防災キャンプ」が行われました。小学 4～6 年生の子どもたち 28 名と地域の大人とが共同生活をしながら、いざという時に自分で身を守る知識を学ぶとともに、被災後に自分たちがどのように行動し対処するのかを学びました。

多様な大人のネットワークで子どもを育む

田尻町地域教育協議会では、長年、「通学合宿」に取り組んできました。近年は、「防災」をテーマに「防災キャンプ」を実施しています。今年で 3 年目の取組みです。田尻町社会福祉協議会が事務局となり、たくさんの地域の団体、施設が協力しています。

これらをつなぐのが地域コーディネーターです。あらゆる場面で声をかけ、人と人をつないでいます。

《協力してくださる主な方々》
田尻町社会福祉協議会
田尻町危機管理課
田尻中学校校区地域教育協議会
田尻町立小学校
泉佐野消防署
泉佐野青年会議所
田尻町消防団
ユースサービス大阪
田尻漁港協同組合
『もらい湯』に協力して下さる地域の方々

空き缶と牛乳パックで「サバメシ」づくり

田尻町危機管理課によるクイズ形式の講話、田尻町消防団の案内で防火水槽や消火栓を見せていただくまち探検、ふれ愛センターでの避難所運営についての学習、泉佐野消防署による消火体験や応急手当等、様々な防災に関するプログラムを体験しました。

また、空き缶と牛乳パックを使った「サバイバル飯（略して「サバメシ」）」づくりにも挑戦



しました。空き缶でナベとカマドをつくり、牛乳等の紙パックを短冊に切って燃料として使います。火を絶やさないように子どもたちは悪戦苦闘していました。うまくいかないこともいい経験で、「炊飯器ってとても便利なんやなあ」という子どものつぶやきが印象的でした。

もらい湯では、子どもたちが二人一組になって地域の家庭にお伺いします。毎年たくさんの家庭がご協力くださっています。

夜は、体育館で段ボールベッドを使った避難所生活体験です。自分たちで組み立て、一夜を過ごしました。



防災キャンプでの学びを発信する

翌日は啓発活動です。近くの漁港にて、イベントに来られた方々へ防災啓発チラシを配りました。子どもたちは、緊張しながらも頑張って配っていました。

この防災キャンプは、防災の知識や技術の習得だけではなく、学びを誰かに伝えることも大切にされています。以前は田尻町の防災訓練において、子どもたちが町民の方々に発表したこともありました。今後、万が一、避難所が開設されることがあっても、今日の学びを生かして、子どもたちがリーダーとして活躍してくれることでしょう。

	第 1 日 10 月 20 日 (土)	第 2 日 10 月 21 日 (日)
午前	開校式、田尻町危機管理課による講話、消防団による防災を知るまち探検 段ボールベッド組立	起床、ラジオ体操、段ボールベッドの片付け、朝食、日曜朝市恒例イベントでの防災啓発、閉校式
午後	昼食、泉佐野消防署による講習 夕食づくり (サバイバル飯)	
夜	夕食、もらい湯、防災きもだめし 就寝	